

## 経済効果が見えにくくなった公共投資

- ・公共投資の投資効果が非常に分かりにくくなっている。  
既に、総合経済対策等で20兆から30兆の公共投資が投下されているのに、景気対策としての効果は全く見えてこない。
  - ・車の通らない道路、漁業をしない漁港などに、硬直的な投資投下が続けられている。  
道路、河川、港湾など、従来からの社会資本も確かに大切だが、ここでは21世紀をにらんだ新しい社会資本投資として、新産業創出につながるような、新たな波及効果の期待できるものを検討・提案すべきではないか。
- 公共投資の予算配分を見直すためには、何か別の名目を付けなければならないのかもしれない。

## 社会資本整備のミッション 及び マネジメントへの提案

- ・新しい社会資本整備を考える上では、「何をやるか」というミッションもしくはコンセプトの部分が最も大切。  
従来のままの公共投資では景気刺激にならない状況を踏まえ、例えば、モノを運ぶことについて、道路（建設）のみでなく、運輸、科学技術庁へのソフト化を含め、社会資本整備コンセプトを再構築することが必要。
- ・そのためにどのような手法をとるかという部分で、社会資本整備にNASAのマネジメント手法を取り入れるというのは、新しい提案として有効。  
例) PBD (Package Break Down) システム  
FAME ( of management evaluation) 等。

## 新しい社会資本への絞り込み与件

- ・本研究会では、以下のポイントに絞り込みをしてはどうか。
  - ① 新展望に向けた社会資本整備における、公共・民間の分担化  
民間整備によるものも含めて将来展望を考えるべき。
  - ② 全国ネットワーク型の資本整備  
全国区もしくは県際プロジェクトの方が提言しやすいのでは？
  - ③ 中長期展望に立ったプロジェクト  
短期的なものよりも、10年先を見据えて今から着手すべきものを検討化。
- ・規制緩和が特効薬のように言われているが、規制が全くない状態が必ずしも良いわけではない。

## 「元気の出る社会資本」としての 具体的なプロジェクト提案

- ・今の時代は、あらゆる面で「気」が弱くなっている。  
「元気の出る社会資本」を是非期待したい。

### 情報通信基盤（情報ハイウェイ、マルチメディア）

- －日本の場合、光ファイバーネットは基幹部分は既にできている。  
あとは個々の家庭に引っ張るかどうか。（電話機の代わりに端末を各戸に無料配布。）  
併せて、データベースの構築も必要。

※ただし、有料の映像や情報が本当に普及するかどうかは疑問。  
将来123兆円産業と言われるが、一人当たり123万円/人も  
情報通信に使う程のニーズがあるとは思えない。  
情報によるマイナス面への検討も必要。（ストレス、プライバシー等）

### リニア新幹線 及び 公共による住宅整備

- －公共で住宅を提供、借家を増やし、モビリティを上げる。  
（首都移転を含めた検討可能性。）

### スーパーハブ空港

- －韓国・仁川でのハブ空港計画は滑走路4本。  
日本の空港は離発着料が高過ぎて、国際競争力なし。

### 天然ガスパイプライン

- －太陽熱は実用性が低い。石油のみに依存しないために必要。

### 地方視点からの事業投資

- －「ふるさと創生」のような地方独自の予算の拡大。

### 国際的な技術移転センター

- －日本の技能者を集め、アジア等 海外からの研修者を育成。

### 大型実験研究設備への投資

- －ノーベル賞等、第一線の研究は既に設備競争になっている状況。

### 宇宙開発（通信・観測）

- －国家の先端プロジェクトとして、社会資本のフロンティアとして  
考えられる。